

令和5年度事業報告書 目次

I 事業の概要

1. 保健管理研究集会事業 2
 - 1) 全国研究集会開催事業
 - 2) 地方部会研究集会開催事業
2. 保健管理業務情報事業 11
 - 1) 機関誌発行事業
 - 2) 情報活用・交換事業

令和5年度事業報告書

I 事業の概要

1. 保健管理研究集会事業

1) 全国研究集会開催事業

全国大学保健管理研究集会は、全国の国・公・私立大学における保健管理の研究者及び実務担当者等が一堂に会し、各大学において取り組んでいる学生・教職員の保健管理に関する種々の課題について、その調査・研究成果を発表・討論すると共に、有識者から各種傷病や健康管理基盤などに関する時宜を得た講演を受講し、シンポジウムにおいて議論に参加したりすることにより、大学における学生・教職員等の保健管理の一層の充実、公衆衛生の向上並びに学術研究の発展に寄与するために開催している。

令和5年度の第61回全国大学保健管理研究集会は、令和5年10月4日(水)・5日(木)の両日金沢市の石川県立音楽堂とホテル金沢で 700名近い参加者のもと、文部科学省後援、当番校である国立大学法人金沢大学と当協会との共催により開催された。

「キャンパスにおけるウェルネス向上をめざして」をメインテーマに、時機を得たテーマの特別講演及びシンポジウムが行われ、ポスターディスカッションでは 110を超える一般発表がなされるなど、充実した内容の研究集会となった。

概要は以下のとおりである。

・特別講演

1. 発達障害の心身の発達の多様性を理解する

金沢大学医薬保健研究域医学系 精神行動科学(神経科精神科)教授 菊知 充

2. 人はなぜ依存症になるのか～「やめられない、とまらない」の理解と援助

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部 部長 松本 俊彦

3. 女性の健康について(食生活習慣と月経異常)

金沢大学医療保健研究域医学系医学類 生殖・発達医学領域産科婦人科学 教授 藤原 浩

4. 食育とウェルネス

石川県栄養士会 会長/北陸学院大学 健康科学部栄養学科 教授 田中 弘美

5. コロナ禍を経た学生の心の健康教育に期待されること

甲南大学 文学部 教授・学生相談室カウンセラー 高石 恭子

6. 金沢の食文化と大学の食育

石川県鮪商生活衛生同業組合 相談役/千取寿司 会長 吉田 勝昭

レストラン Meal オーナーシェフ 村上 学

ケーキハウス エンゼル オーナーパティシエ 裏野 剣一

・教育講演

金沢大学の学生支援

金沢大学 理事(教育・高大院接続・大学院改革・情報担当) 副学長 森本 章治

・シンポジウム

1. 大学における困難事例に対する法的根拠に基づいた対応

座長: 足立 由美(金沢大学 保健管理センター 教授)

馬場 絢子(金沢大学 保健管理センター 助教)

① 「学生トラブル」への対応のあり方 ～法律家の立場から～

関谷・宗像法律事務所 弁護士 宗像 雄

② 北陸先端科学技術大学院大学における困難事例

北陸先端科学技術大学院大学 保健センター 教授 古川 健治

③ 日常の健康支援業務における法的問題

名古屋大学 総合保健体育科学センター 教授 石黒 洋

- ④ 「親と縁を切る」ことの心理的意味と法的根拠そしてそのプロセス
岐阜大学 保健管理センター 准教授 堀田 亮
- ⑤ 学生のトラブル ～ つきまとい行為への対応 ～
浜松医科大学 保健管理センター 保健師 内藤 由美

2. 海外渡航・留学の危機管理ー現時点からの警鐘、安全に学生を送り出すために
座長：中川 克（立命館大学 保健センター 教授）

柳元 伸太郎（国立大学法人東京大学 保健・健康推進本部 副本部長／
保健・健康推進部 保健センター 教授）

- ① 海外渡航・留学の危機管理ー現時点からの警鐘、安全に学生を送り出すための提言ー
岩手県 県央保健所 保健所長 仲本 光一
- ② 海外渡航や留学時のDuty of Care ～シンガポールの高等教育機関を例に～
International SOS, Regional Medical Director 野村 亜希子

・ランチョンセミナー

1. 大学生におけるワクチン接種～ワクチン接種は人生における投資です～
東京医科大学病院 渡航者医療センター 准教授 福島 慎二 主催：サノフィ株式会社
2. キャンパスにおける脳神経疾患
金沢大学 保健管理センター 教授 吉川 弘明 主催：ユーシービージャパン株式会社
3. ここまで進歩したウィルス性肝炎の治療
金沢大学 保健管理センター 助教 島上 哲朗 主催：アッヴィ合同会社
4. HPVワクチン接種率を高めるために～本学の取り組みから見えてくるもの～
旭川医科大学 産婦人科学講座 教授 加藤 育民 主催：MSD株式会社

・一般研究発表

「健康診断」 「健康調査」 「感染症対策」 「産業保健・安産衛生」
「保健指導」 「学生相談」 「メンタルヘルス」 「フィジカルヘルス」
「ウェルネス・健康教育」 「留学、留学生支援」 「ダイバーシティ」 「その他」
をテーマに111演題が発表された。

2) 地方部会研究集会開催事業

当協会では、北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国四国及び九州の各地域に地方部会を設け、地方部会ごとに当該地域の大学等の保健管理施設に勤務する実務担当者等の知的交流及び研究活動の活性化を図り、大学における保健管理の充実に努めている。

各地方部会では、実務担当者等が日頃から取り組んでいる保健管理に関する課題等を持ち寄り、その成果を発表・討論する研究集会を開催するほか、地域の特性に応じたテーマについて職種毎の研究会・研修会を開催し、保健管理に関する知識の啓発や技術の向上、ならびに研究の推進等に取り組んでいる。詳細は以下のとおりである。

1. 北海道地方部会報告

地方部会研究集会 令和5年8月25日（参加者：30校67名）

- ① 講演Ⅰ 演題「歯科検診の重要性について」
講師 北海道医療大学 歯学部 教授 斎藤 隆史
司会 札幌保健医療大学 保健医療学部 教授 家子 正裕
- ② 講演Ⅱ 演題「大学生の睡眠・覚醒相互退症候群の症状とその対応について」
講師 福島学院大学 福祉学部 講師 河村 麻果
司会 小樽商科大学 保健管理センター所長 高橋 恭子

- ③ 講演Ⅲ 演題「大学保健管理施設における常備薬の適正使用および注意点」
 講師 北海道医療大学 薬学部 講師 中山 章
 司会 北海道医療大学 保健センター所長 大村 一将
- ④ 研究発表
 司会 北海道医療大学 保健センター所長
 演題1 本学におけるワクチン接種の取り組みの再検討と接種歴の抗体価の比較
 北海道医療大学 保健センター
 ○ 羽藤睦美、木村一将、高田りか、横尾早苗、熊谷拓真
 演題2 新型コロナウイルス感染症流行時における体調不良者の把握および
 登校および就業制限の対応状況のまとめ
 北海道医療大学 保健センター
 ○ 木村一将、羽藤睦美、高田りか、横尾早苗、熊谷拓真

※ 令和6年2月「令和5年度地方研究集会報告書」を発行

2. 東北地方部会報告

地方部会研究集会 令和5年7月21日（参加者：38校114名）

- ① 教育講演 「酸化ストレスと糖尿病」
 東北大学高度教養教育・学生支援機構臨床医学開発室 准教授 小川 晋
- ② ミニレクチャーⅠ 「認知行動療法の実際」
 東北大学高度教養教育・学生支援機構臨床医学開発室 教授 伊藤 千裕
 司会 伏見 雅人（秋田大学）
- ③ ミニレクチャーⅡ 「学校心臓検診と生活管理指導について」
 東北大学高度教養教育・学生支援機構臨床医学開発室 准教授 建部 俊介
 司会 小野田 敏行（岩手大学）
- ④ 一般研究発表
 「2023年度春学期における山形大学生の精神的健康のキャンパス間比較」
 山形大学保健管理センター
 「教養教育におけるメンタルヘルス健康教育の取り組み」
 弘前大学保健管理センター
 「専門職人材との連携についてー発達障害のある学生の事例を」
 鶴岡工業高等専門学校
 「令和4年度の本学学生における健康・生活実態調査結果の検討」
 秋田大学保健管理センター
 「学生健康診断における合理的配慮ー東北大学での実施経験ー」
 東北大学保険管理センター
- ⑤ 保健・看護分科会 令和5年7月21日（参加者：38校106名）
 特別講演 「“多様な性”から見えている世界～支援の現場に期待すること～」
 立命館大学大学院 先端総合学術研究科（日本学術振興会 特別研究員）
 国立大学法人 宮城教育大学 非常勤講師 勝又 栄政

※ 令和6年3月「令和5年度地方研究集会報告書」を発行

3. 関東甲信越地方部会報告

地方部会研究集会（ハイブリット開催）令和5年7月27～28日（参加者：156校375名）
 7月27日

- ① 部会長講演「昭和大学の紹介と東洋医学」
 昭和大学 学長 久光 正

- ② 教育講演Ⅰ「大学生・職員における発達障害のサインと対応」
 演者 安宅 勝弘（東京工業大学 保健管理センター 教授）
- ③ シンポジウムⅠ 「見逃しがちなサインにアンテナを張る」
- 1) 朝起きられない、午後はOK!、ときに倒れる⇒起立性調節生涯？
 演者 田中 大介（昭和大学 保健管理センター 所長・教授）
 - 2) 忘れもの、気が散る、気分が沈む、涙が出る・・・
 演者 岡島 由佳（昭和大学 保健管理センター 准教授）
 - 3) 大学生の自尊感情とメンタルヘルス
 演者 古荘 純一（青山学院大学 教育人間科学部 教育学科 教授）
- ④ 特別講演Ⅰ「音楽の楽しさを届けるために～自由な発想と連携のハーモニー」
 演者 伊藤 由貴子（公益財団法人神奈川芸術文化財団音楽事業 部長）
 （兼 神奈川県立音楽堂 館長）
- 特別講演Ⅱ「死から生といのちを考える ～ケアする人自身のケアを含めて～」
 演者 高宮 有介（戸田中央メディカルケアグループ 緩和医療特別顧問）

7月28日

- ⑤ 教育講演Ⅱ「大学生における食物アレルギーの現状と対応の工夫」
 演者 今井 孝成（昭和大学 小児科 教授）
- ⑥ シンポジウムⅡ 「それって大丈夫？水面下に潜むトラブル」
- 1) 大学生はSNSの危険性をどれだけ知っているのか
 演者 近藤 雅人（昭和大学 富士吉田教育部 情報科学講座 講師）
 - 2) デートDVから青少年を守る～あなたはとっても大切な人
 * ミニワークショップ
 演者 阿部 真紀（認定NPO法人 エンパワメントかながわ 理事長）
- ⑦ 特別講演Ⅲ「健康医療とデザインの関係」
 演者 安次富 隆（多摩美術大学 生産デザイン学科
 プロダクトデザイン専攻 教授）
- ⑧ 保健・看護分科会（ハイブリッド開催）令和5年7月28日（参加者：研究集会参加者）
 座長 原田 賢治（東京農工大学保健管理センター 教授）
 司会 古田 智子（千葉大学総合安全衛生管理機構 看護師）
 大学間の垣根を越えた看護職の活動を考える
- 1) 全国大学保健管理協会保健看護委員会より
 演者 古田 智子（千葉大学総合安全衛生管理機構 看護師）
 - 2) 関東甲信越地方部会保健看護分科会より
 演者 砂川 昌子（東京女子大学 教育研究支援部 保健室 保健師）
 - 3) 各地区の活動報告
 演者 岩倉 かおり（千葉大学 総合安全衛生管理機構 保健師）
 和泉 恵子（山梨大学 保健管理センター 保健師）
 八重樫 聡子（群馬大学 健康支援総合センター 看護師）
 脇本 澄子（松本大学 健康安全センター 保健師）
- 討論参加 田中 ゆり（政策研究大学院大学 保健管理センター 保健師）

4. 東海北陸地方部会報告

地方部会研究集会 令和5年7月27～28日（参加者：62校107名）

第1日目

- ① 特別講演Ⅰ 座長 静岡大学 保健センター 所長 山本 裕之
 演題「大学生のリスクマネジメント～リスク認知の個人差を起点として～」
 講師 静岡大学 教育学領域・防災総合センター 教授 村越 真

② パネルディスカッション I

テーマ「エビデンスに残したい好事例／難事例」

座長 静岡大学 保健センター 教授 森 俊明

パネリスト「我々が経験した、解決困難な2つの事例」

浜松医科大学 保健管理センター 講師 榎本 紀之

パネリスト「大学保健管理における日本語を話さない学生への対応経験」

金沢大学 保健管理センター 教授 吉川 弘明

パネリスト「非肥満型 NAFLD/NASH と考えられた一症例

～学生の健康白書2015を参照して～」

名古屋大学 総合保健体育科学センター 教授 山本 明子

パネルディスカッション II

テーマ「ポストコロナの学生メンタルヘルス」

座長 静岡大学 保健センター 教授 太田 裕一

パネリスト「COVID-19は大学生のメンタルヘルスに、いつ、どのように影響を与えたのか～CGAPS-Japaneseを用いた経年比較」

岐阜大学 保健管理センター 准教授 堀田 亮

パネリスト「COVID-19感染拡大に伴う大学生の「摂食障害傾向」への影響

～インターネット質問票調査による分析～」

福井大学 保健管理センター 講師 岡崎 玲子

パネリスト「大学でのICT授業環境と体調およびメンタルヘルスへの影響」

愛知教育大学 健康支援センター 教授 田中 生雅

第2日目

③ 特別講演 II 座長 静岡大学 保健センター 所長 山本 裕之

演題「静岡大学の学生支援体制」

講師 静岡大学 学長 日詰 一幸

④ パネルディスカッション報告／保健管理担当職研究集会報告

司会 静岡大学 保健センター 所長 山本 裕之

総括 保健管理担当職研究集会当番校 高山 佳子

総括 パネルディスカッション I 座長 森 俊明

総括 パネルディスカッション II 座長 太田 裕一

⑤ 特別講演 III 座長 静岡大学 保健センター 所長 山本 裕之

演題「新型コロナウイルス感染症対策の振り返りと渡航医学について」

講師 感染症危機管理専門家 (IDES) 島谷 倫次

保健管理担当職研究集会 令和5年7月27日 (参加者: 58校80名)

① 特別講演 司会 静岡大学学務部学生生活課長 大矢 紀美代

演題「将来の健康を見据えた女性学生のヘルスケア

～若年女性に多い健康トラブルとその予防～」

講師 聖隷健康サポートセンター Shizuoka 所長 鈴木 美香

② シンポジウム

テーマ「女子学生への健康支援～女性の健康づくりのために～」

座長 静岡大学 健康センター 浜松支援室 保健師 内藤 有美

シンポジスト「静岡大学における婦人科健康支援への取り組み

～大学生の月経の実態と健康問題への介入方法について」

静岡大学 保健センター 静岡支援室 保健師 野上 愛里子

シンポジスト「『未病』をセルフケアできる女性になるための健康支援

～薬膳による東洋医学的アプローチを中心に～」

静岡英和学院大学保健室 看護師 森田 美和子
シンポジスト「女子学生への健康支援～女子学生の『困った』を応援したい～」
静岡県立大学健康支援センター 医務室看護師 加治 由記

③ 保健管理担当職地区研究会

- (1) 静岡地区研究会 令和5年8月25日（参加者：10校22名）
当番校 静岡英和学院大学・静岡産業大学・静岡福祉大学
会場 静岡英和学院大学
例会・意見・情報交換
- (2) 東海地区研究会 令和5年11月17日（参加者：27校29名）
当番校 豊橋技術科学大学
会場 emCAMPUS
講演 第一部『発達障害を持つ大学生への対応について
～ひとりひとりが「輝ける社会」の実現のために～』
講師 株式会社 LITALICO パートナーズ
就労移行支援事業所 LITALICO ワークス 豊橋 渡邊 美香
第二部『企業における発達障害者の現状と課題
～大学卒業後を見据えた対応を考える～』
講師 豊橋鉄道株式会社 総務部 主任 保健師 赤川 景子
- (3) 北陸地区研究会 令和5年11月8日（参加者：18校27名）
当番校 富山短期大学
会場 富山短期大学
講演1 「ネット依存の医学研究」
講師 富山大学 学術研究部医学系疫学・健康政策講座 准教授 山田 正明
講演2 「学生の心のリスクと対応」
講師 富山大学 保健管理センター 講師 西山 志満子

※ 令和6年1月「令和5年度東海・北陸地方部会報告書」を発行

5. 近畿地方部会報告

地方部会研究集会 令和5年8月21日（参加者：60校109名）

① 講演1 「ストレスと付き合いには」

滋賀医科大学 精神医学講座 教授 尾関 祐二

講演2 「保健管理施設で注意すべき個人情報の取り扱い」

滋賀医科大学 情報総合センター 教授 芦原 貴司

講演3 「健康診断で分かる心臓の病気～異常なし・経過観察・要治療～」

滋賀医科大学 内科学講座循環器内科 教授 中川 義久

② 保健師・看護師班研究集会

- (1) 京滋地区 滋賀医科大学 令和5年11月22日（参加者：15校21名）

講演1 「休職・復職 産業保健スタッフの役割と実務」

滋賀医科大学 保健管理センター 産業医 松尾 裕美子

講演2 「大学の保健管理 学生編」

滋賀医科大学 保健管理センター 所長 小川 恵美子

- (2) 阪奈和地区 大阪成蹊短期大学 令和5年12月5日（参加者：26校28名）

講演1 「最近の看護学生の特性とその対応例」

大阪成蹊大学 看護学部 学部長 星野 明子

講演2 「大学生の喫煙行動と喫煙に関する知識・態度について」

大阪成蹊大学 看護学部 講師 石川 信仁

(3) 兵庫地区 姫路大学 令和5年12月14日 (参加者: 27校43名)

講演 1 「発達障害学生の修学支援」

姫路大学 看護学部研究科 特任教授 郷間 英世

講演 2 「青年期に生じやすい心の病の理解と対応

— 思春期・青年期の心の発達の視点から —

姫路大学 教育学部 教授 臨床心理士・公認心理師 日潟 淳子

※ 令和5年8月「2023年度近畿地方部会／保健師・看護師班 研究集会・総会」の冊子を発行

※ 令和6年3月「2023年度近畿地方部会／保健師・看護師班 活動報告書」を発行

5. 中国・四国地方部会報告

地方部会研究集会 令和5年8月24～25日 (参加者: 86名)

○ 特別講演 「AIらんまん～徳島の藍と藍染、藍に関する研究成果、徳島大学INDIGO宣言
生成AIに関する基本方針について～」 徳島大学長 河村 保彦

○ 教育講演 1 「医工連携による医療機器開発～チームをつくり
創意工夫の感性を磨こう!～」

徳島大学 大学院 医歯薬学研究部 地域総合医療学 特任教授 岡久 稔也

○ 教育講演 2 「循環型タンパク質としての食用コオロギについて」

徳島大学 バイオイノベーション研究所 講師

／株式会社 グリラス 代表取締役 CEO 渡邊 崇人

○ 教育講演 3 「勤労世代のメタボ対策におけるアディポネクチン値の有用性と
その社会実装に向けた取り組み」

徳島大学 先端酵素学研究所 客員教授 船木 真理

○ メンタルヘルス講演会

「障害学生支援の現状と課題」

徳島大学 教授 住谷 さつき

○ 一般研究発表 (15題)

・ 「不活化新型コロナウイルスワクチンとmRNAワクチンの交差接種及びオミクロン株対応ワクチンを含むブースター接種後にCOVID-19の発症を前向きに観察し得た一症例」

岩崎 良章 他 (岡山大学)

・ 「麻しん等感染症対策に向けた非医療系学科・医療系学科における罹患歴・
ワクチン接種歴の比較」

三島 香津子 他 (鳥取大学)

・ 「感染性結核を発症した留学生への対応と接触者健診」 坂東 千秋 他 (香川大学)

・ 「本学における教職員の健康課題の検討～2022年度定期健康診断時の問診から～」

森福 織江 他 (山口大学)

・ 「若年教職員に対する健康支援の検討」

大岩 美景 他 (愛媛大学)

・ 「大学生におけるBMIと機能性ディスぺプシアとの関連性」

加藤 亜希 他 (愛媛大学)

・ 「徳島大学における喫煙対策と現状」

西尾 よしみ 他 (徳島大学)

・ 「コロナ禍での「健康の森」再開—ヘルシーキャンパスの取り組みを考える—」

藤勝 綾香 他 (山口大学)

・ 「デジタル機器長時間使用者の健康状態に関する解析」 鎌野 寛 他 (香川大学)

・ 「わが国の大学生等の飲酒事故が関係した訴訟事例の検討

— 大学保健管理担当者の視点から —

日山 亨 他 (広島大学)

・ 「大学教育での「想定ヒヤリハット」収集の意義」

森本 宏志 他 (山口大学)

・ 「中国四国地区国立大学におけるハラスメント防止規程に見られる特徴」

井ノ崎 敦子 他 (徳島大学)

・ 「岡山大学保健管理センターにおけるWAIS検査の実際

- ～学生生活支援における活用の観点から～
- ・「修学継続困難学生への対応」
 - ・「大学における性の多様性への対応について」
- 岡部 信幸 他（岡山大学）
片岡 真歩 他（山口大学）
河野 美江 他（島根大学）

※ 令和5年12月「第53回中国四国保健管理研究集会の報告書」を発行

7. 九州地方部会報告

地方部会研究集会 令和5年7月10～30日（参加者：49校137名）

- ① 学長講演 「変革期を迎えた熊本大学」 熊本大学 学長 小川 久雄
- ② 特別講演 「細川藩政における公共福祉行政の萌芽とその担い手」
熊本大学 永青文庫研究センター長 稲葉 継陽
- ③ 合同セミナー
 - 教育講演Ⅰ「子宮がん予防のためのHPVワクチンと健診について」
熊本大学 大学院 生命科学研究部 健康科学講座 教授 田代 浩徳
座長 熊本大学 保健センター 看護師 田代 邦子
コーディネイター 熊本大学 保健センター 看護師 山本 洋美
 - 教育講演Ⅱ「学生による災害支援の取組み」
熊本大学 大学院 先端科学研究部 土木デザイン分野 教授 竹内 裕希子
座長 熊本大学 保健センター 准教授 副島 弘文
コーディネイター 東海大学 フェニックスカレッジ熊本オフィス健康推進室
看護師 古川 千夏
- ④ 合同シンポジウム
 - 「改めて新型コロナウイルス感染症について考える～これからのために～」
 - 講演Ⅰ「復習、新型コロナウイルス感染症－5類移行をむかえて－」
熊本大学 生命科学研究部 呼吸器内科学講座 教授 坂上 拓郎
 - 講演Ⅱ「KMバイオロジクスにおける新型コロナワクチンの開発状況について」
KMバイオロジクス株式会社 代表取締役社長 永里 敏秋
 - 講演Ⅲ「新型コロナ感染症とメンタルヘルス」
前・熊本県 精神保健福祉センター所長 富田 正徳
- ⑤ 一般演題Ⅰ 座長 福岡教育大学 健康科学センター 教授 貫名 英之
コーディネイター 大分大学 保健管理センター 保健師 河野 香奈江
鹿児島大学 保健管理センター 保健師 北原 舞
「鹿児島大学におけるCOVID-19複数回発症学生の検討」 中村 聡子（鹿児島大学）
「鹿児島大学における新型コロナウイルスオミクロン株流行期の発症学生の実際」
佐久間 真友子（鹿児島大学）
「人材登録型の障害学生支援ボランティア
キャンパスライフサポーター制度の紹介」 中島 俊思（佐賀大学）
「熊本大学における障害学生支援についての取組み（第2報）
－合理的配慮の手続きに関する学生アンケートの結果について－」
井上 寛子（熊本大学）
「インクルーシブキャンパスの構築に向けた新しいバリアフリーデザインの案出と実装
－九州大学らくちんラボの取組み－」 羽野 暁（九州大学）
「本学戸畑キャンパス周辺での禁煙パトロールの取組みと今後の禁煙推進上の課題」
嘉数 直樹（九州大学）
- 一般演題Ⅱ 座長 宮崎大学 安全衛生保健センター 教授 武田 龍一郎
コーディネイター 大分大学 保健管理センター 保健師 河野 香奈江
鹿児島大学 保健管理センター 保健師 北原 舞

- 「コロナ禍で入学した大学新入生の精神的健康度に影響を及ぼす因子」
堤 隆（大分大学）
- 「本学新入生の睡眠問題と心の健康度の関連について～横断的調査～」
中道 聖子（長崎大学）
- 「看護師のラインケアをサポートする産業医を含めた取り組み」
松岡 美智子（久留米大学）
- 「BMI低値学生の対応について」
河野 里奈（九州大学）
- 「大学生向けのeラーニング教材を用いた心理・健康教育の試み」
松下 智子（九州大学）
- 「伝道の書が有効であった虚無感を訴える大学生の1例」 長岡 舞子（熊本大学）

※ 令和6年1月「令和5年度 第53回九州地区大学保健管理研究協議会報告書」を発行

令和5年度事業報告書

I 事業の概要

2. 保健管理業務情報事業

1) 機関誌発行事業

当協会では、機関誌として、全国大学保健管理研究集会の報告書並びに大学における保健管理に関する調査研究活動の成果である研究論文集をそれぞれ年1回刊行している。

令和5年度も、第61回全国大学保健管理研究集会報告書として「CAMPUS HEALTH(1)」を機関誌編集委員会において設定したテーマの特集記事及び学術論文を掲載した「CAMPUS HEALTH(2)」を刊行し、本協会のホームページ上に掲載した。

また、当協会の公益性に鑑み、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が構築した「科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）」において「CAMPUS HEALTH」を一般公開するための運用が始まった。

2) 情報活用・交換事業

令和2年度に立ち上げた「新型コロナウイルス感染症対策ワーキンググループ」はその役割を果たして解散した。一方で、一昨年度は「2020_2021 学生調査実施ワーキンググループ」を立ち上げ、文部科学省の委託を受け、一般社団法人国立大学保健管理協議と共同で実態調査を行い、新型コロナウイルス感染症が学生の自殺にどのような影響があるかを、今年度も継続して調査した。

更に、従来からの感染症（例えば、風疹の流行）やメンタルヘルス（例えば、うつ病や自殺など）などの保健管理上の事案に対して大学として時宜を得た対策が求められているが、個々の大学の保健管理施設だけでは十分な対応が難しい。そこで、当協会では大学の保健管理に関する各種の情報や資料の収集を行い、これらを各大学に提供して、迅速かつ適切に対応できるよう、継続して行っている。

令和5年度も、大学の保健管理に関する最新情報や基盤となる資料を当協会の通信網を介し一斉配信、ホームページに掲載するなどして広く社会に提供した。

令和2年度に行ったヘルシーキャンパス宣言を踏まえヘルシーキャンパス活動を共有するため令和3年度に「ヘルシーキャンパス運営委員会」を立ち上げた。令和5年度はヘルシーキャンパスの実現を目指し、第12回となるヘルシーキャンパスフォーラムや38の団体・大学の参加のもと「ウォーキングチャレンジ2023」等のイベントを開催した。

ヘルシーキャンパス宣言した大学・団体は今年度新たに1校を加え10となった。

また、平成29年度に構築した、職種（医師、看護師、公認・臨床心理師）別、設置母体（国公立）別、地域（地方部会）別の電子メール双方向配信システムの運用を向上させ会員間の連携及び交流の場としての活用を深化した。今後は、ウェブ情報委員会の審議承認を経た研究については、このシステムを通じての調査も可能にしてゆく。

さらに、当協会の国際連携委員会や保健看護委員会のほか、各種委員会の活動状況等をホームページで積極的に発信する。また、調査研究の適正な実施を図るため、必要な研究課題に対して倫理審査を行うなど、協会としてのミッション実現のために、一層積極的な活動をしていく。